

3.Kayunga Junior学校の教育を高める清浄な水へのアクセス確保(ウガンダ)

- 実施団体: Rural Initiative for Development and Empowerment (RIDE-UGANDA) (#184)
- 実施地: ウガンダ カユンガ県 カユンガ副郡 キサウオ村
- プロジェクト予算: 1,816ドル(JWFファンド1,500ドル、団体200ドル、受益者116ドル)
- 受益者数: 650人(男性100人、女性150人、子ども400人)
- 実施地の水問題:

ウガンダのカユンガ県のほとんどの農村部の学校では水の問題を経験しているが、キサウオ村とその周辺地域の貧困層の幼稚園児と小学生が300人在学しているカユンガ・ジュニア学校も例外ではない。清潔な水を利用できていないため水系感染症による欠席が多く、衛生状態は悪く、退学率も高くなり、学業成績の著しい低下がみられる。子どもたちは学校でも家でも水汲みの手伝いをすると1日最低5時間もかけてしまうので、授業を欠席しがちになり初等教育の修了が難しくなっている。



沼から水を汲むキサウオ地域の子どもたち



個人宅の受水槽から水を汲むカユンガ・ジュニア学校の生徒たち

- 主な活動内容: 3回の村落住民衛生集会、浅井戸1カ所設置と手押しポンプ設置、水利用委員会の結成等。
- 特長(持続性): 共同体の核となる学校付近に井戸を設置して、生徒と村民あわせて650人を直接受益者とする。衛生習慣改善により、村民1,200人を間接受益者とする。プロジェクト実施によって、子どもたちの健康・就学率増加と、女性が社会や経済分野で活動する時間をつくる。村民から3名を選抜して、維持管理教育を受講する。
- 実施団体: カユンガ地区農村部の若者と女性のグループによって、2014年に創立して、2016年に正式登録された。浅井戸建設に経験豊富で農村地域において44以上のプロジェクトを成功させた。JWFファンド2021支援あり。